
4章

水道ビジョンの基本理念と理想像

4-1. 「新水道ビジョン」の方針	54
4-2. 本地域の水道の課題	55
4-3. 基本理念と理想像の設定	56
4-4. 理想像実現に向けた方策体系	57

4章 水道ビジョンの基本理念と理想像

4-1. 「新水道ビジョン」の方針

厚生労働省が公表している「新水道ビジョン」では、望ましい水道の実現のために「水道水の安全の確保」、「確実な給水の確保」、「供給体制の持続性の確保」が必要だとされています。この方向性をそれぞれ「安全」、「強靱」、「持続」と表現し、水道の理想像を示し関係者間で共有することとしています。

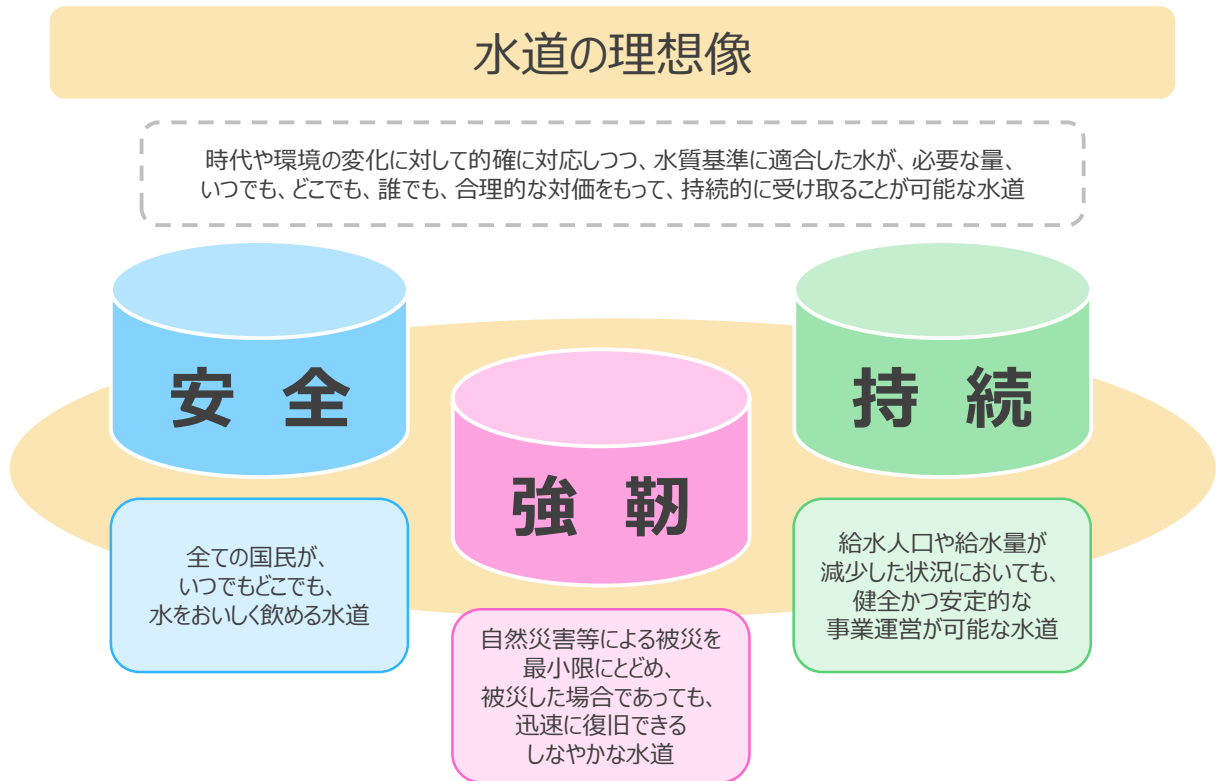


図 4-1 水道の理想像（厚生労働省「新水道ビジョン」より作成）

4-2. 本地域の水道の課題

本地域の水道の理想像を形作るにあたって、企業団が抱える課題や求められている事項について、「安全」、「強靱」、「持続」の観点から整理します。

安全

- 水質が悪化している地下水水源の取り扱いについて検討する必要があります。
- 施設再構築に伴い水運用が変化しているため、必要な水質検査箇所を見直す必要があります。
- 水安全計画を、適切に運用しながら定期的に見直し、ブラッシュアップさせる必要があります。
- 管路老朽化に伴い多発する漏水の対策を実施する必要があります。

強靱

- 施設再構築を推進していくとともに、廃止施設の活用方法も検討する必要があります。
- 老朽化が進む水道施設の更新事業を推進する必要があります。
- 地震や豪雨等、頻発化・激甚化する自然災害への対策を実施する必要があります。
- 災害発生時の具体的な危機管理マニュアル等を策定する必要があります。

持続

- 水需要が年々減少しており、施設の更新費用のために財政が圧迫されていることを踏まえ、アセットマネジメントの実施や施設のダウンサイジングによる更新需要の低減、補助金の活用に努める必要があります。
- 維持管理業務を効率的に実施するために、包括事業委託先の職員との連携をより強化する必要があります。
- 将来にわたって技術継承が可能となるよう、年齢バランスのとれた人材確保・長期的な育成計画を策定する必要があります。
- 多様化する利用者ニーズの把握に努めるとともに、社会環境の変化に応じた事業運営を検討する必要があります。

4-3. 基本理念と理想像の設定

企業団は、群馬県東部地域の水道事業の担い手として、地域住民の皆さまに「信頼」され続けることが何よりも大切であると考えています。企業団職員が一丸となって、理想像である「安全できれいな水道」「強靱で安定した水道」「健全経営を持続する水道」に近づくために絶え間ない努力を続けます。そして、皆さまの信頼を「未来へつなぎ」、世代を超え地域一体で水道事業を運営していきます。

この思いを込めて、企業団の基本理念を「信頼を未来につないでいこう 群馬東部の水道」へと一新しました。



4-4. 理想像実現に向けた方策体系

「安全」「強靱」「持続」の理想像を実現するためには、理想像への道筋をできる限り具体的に示すことが重要です。理想像実現に向けて企業団が推進する取組を整理し、方策体系を定めました。理想像実現に向けた取組の大きな枠組みとして基本方策を、より小さな枠組みとして基本方策に紐づく個別方策を位置付けました。個別方策はそれぞれが独立したものではなく、他の個別方策や基本方策と様々な側面でかかわり合うものです。基本理念や3つの理想像を踏まえ、広い視野で理想像実現への努力を続けます。

基本方策	個別方策
安全 1. 良質な水道水を目指す	(1) 水質管理体制の充実
	(2) 水道水の水質向上
安全 2. いつでも安心な水道を目指す	(3) 施設・管路の健全化
	(4) 水道水の安定供給
強靱 1. 災害に強い施設にする	(1) 水道システムの再構築
	(2) 水道システムの強靱化
強靱 2. 非常時にも水を届ける	(3) 危機管理体制の充実
	(4) 関係機関との連携体制の強化
持続 1. 組織力を高める	(1) 技術水準の確保
	(2) 組織体制の最適化
持続 2. 財政基盤を強化する	(3) 投資の合理化
	(4) 財源の確保
持続 3. お客様サービスの向上	(5) 水道サービスの充実
	(6) 広報・情報公開の充実
持続 4. 変化する社会環境に適応する	(7) デジタル化の推進
	(8) 環境に配慮した事業運営

● 既存計画の戦略目標と水道ビジョンの方策体系のかかわり

水道ビジョン方策体系には、「広域化基本計画」、「垂直統合基本計画」の戦略目標（P.22～）を反映しました。個別方策と、既存計画の戦略目標の対応関係は図 4-2のとおりです。

基本方策	個別方策	関連する戦略目標		
安全 1	(1) 水質管理体制の充実	④ 内部プロセスの視点 水質管理の向上	⑤ 顧客の視点 水質の向上	
	(2) 水道水の水質向上	④ 内部プロセスの視点 水質管理の向上	⑤ 顧客の視点 水質の向上	
安全 2	(3) 施設・管路の健全化	① 再構築の視点 事務の効率化 ④ 内部プロセスの視点 耐震化(ハード・ソフト)	③ 財務の視点 資金の確保 ④ 内部プロセスの視点 維持管理の向上	④ 内部プロセスの視点 施設・管路の更新 ⑤ 顧客の視点 安定した供給
	(4) 水道水の安定供給	① 再構築の視点 既存施設の有効活用 ② 学習と成長の視点 技術力の継承	① 再構築の視点 施設の統廃合 ⑤ 顧客の視点 安定した供給	① 再構築の視点 事務の効率化
強靱 1	(1) 水道システムの再構築	① 再構築の視点 既存施設の有効活用 ④ 内部プロセスの視点 維持管理の向上	① 再構築の視点 施設の統廃合 ⑤ 顧客の視点 水質の向上	④ 内部プロセスの視点 施設・管路の更新 ⑤ 顧客の視点 応急対策の充実
	(2) 水道システムの強靱化	④ 内部プロセスの視点 施設・管路の更新	④ 内部プロセスの視点 耐震化(ハード・ソフト) ⑤ 顧客の視点 安定した供給	⑤ 顧客の視点 安定した供給
強靱 2	(3) 危機管理体制の充実	④ 内部プロセスの視点 耐震化(ハード・ソフト)	⑤ 顧客の視点 応急対策の充実	
	(4) 関係機関との連携体制の強化	④ 内部プロセスの視点 耐震化(ハード・ソフト)	⑤ 顧客の視点 応急対策の充実	
持続 1	(1) 技術水準の確保	① 再構築の視点 維持管理の効率化 ② 学習と成長の視点 組織力の向上	① 再構築の視点 人材の確保 ② 学習と成長の視点 技術力の継承	② 学習と成長の視点 人材の育成 ④ 内部プロセスの視点 維持管理の向上
	(2) 組織体制の最適化	① 再構築の視点 維持管理の効率化 ③ 財務の視点 維持管理費の低減	① 再構築の視点 人材の確保 ④ 内部プロセスの視点 施設・管路の更新	② 学習と成長の視点 組織力の向上
持続 2	(3) 投資の合理化	① 再構築の視点 既存施設の有効活用 ③ 財務の視点 維持管理費の低減	① 再構築の視点 施設の統廃合 ④ 内部プロセスの視点 施設・管路の更新	③ 財務の視点 資金の確保
	(4) 財源の確保	① 再構築の視点 補助金活用事業	③ 財務の視点 資金の確保	
持続 3	(5) 水道サービスの充実	⑤ 顧客の視点 サービスの向上		
	(6) 広報・情報公開の充実	⑤ 顧客の視点 サービスの向上		
持続 4	(7) デジタル化の推進	① 再構築の視点 事務の効率化	③ 財務の視点 維持管理費の低減	④ 内部プロセスの視点 維持管理の向上
	(8) 環境に配慮した事業運営	③ 財務の視点 維持管理費の低減		

図 4-2 既存計画の戦略目標と水道ビジョンの方策体系のかかわり